

## 2 健康のとらえ方

### はじめに

学習指導要領にどのように書かれているかを確認することから始めます。この単元は学習指導要領上の位置づけとしては、**ア 健康の考え方 (イ) 健康の考え方と成り立ち** の内容に該当します。

指導要領解説には、

健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化している。このことを、疾病や病状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として理解できるようにする。さらに、それらを踏まえて免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立にかかわっていることについて理解できるようにする。

と書かれています。つまり、まとめると以下ようになります。

#### 【理解できるようにすること】

- 個人や集団の健康についての考え方も変化していること。
- 主体要因と環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立にかかわっていること。

### 授業づくりの実際（指導と評価の一体化を意識して）

内容の取扱いの（８）には、指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。となっています。これは、「保健」の指導に当たっては、知識の習得を重視した上で、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング（役割演技法）、実習や実験、課題学習などを取り入れること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものです。

#### 《例示》

##### 【知識・理解】→指導方法と評価方法の検討

- WHOの健康の定義とは
- 生活の質を重視する健康考え方とは
- 健康の成立にかかわる主体要因とは
- 健康の成立にかかわる環境要因とは

##### 【思考・判断】→指導方法と評価方法の検討

- 主体要因と環境要因は健康の成立にかかわりどのように影響し合っているのかをグループで考える。
- あなたの考える健康についてまとめて発表する。
- 都会の生活と田舎の生活のどちらが健康的かをグループで話し合う。

##### 【関心・意欲・態度】→評価方法の検討

- 今日の学習のどの場面でどのように評価するか。

上記の指導方法や評価方法を念頭に、指導内容の順序や発問の仕方、知識を活用する学習活動の取り入れ方などを工夫し、1時間の授業を組み立てていきます。

### 本単元のキーワード

「WHO憲章」「QOL」「主体要因」「環境要因」